

<第4513回>

目的地：赤石岳・荒川岳(南アルプス) 時計回りコース

担当者：松岡

実施日：2024年8月9日(金)夜~15日(木)朝

形式：テント2泊、小屋2泊

費用：¥44,020

参加者：2名

行程：

8/9(金) 夜

[高速バス:WILLER EXPRESS WX3953 便]大阪 WBT 梅田(23:20)→(6:10)東静岡駅 南口

8/10(土) 晴れ

[バス:静鉄ジャストライン、南アルプス登山線]静岡駅前(10:00)→(13:20)畑薙臨時駐車場

[特種東海フォレスト 送迎バス]畑薙臨時駐車場(14:10)→(15:15)榎島(さわらじま)ロッジ テント泊

8/11(日) 晴れ

榎島ロッジ(5:00)→中電基準点→棧道→標柱のある広場→ボッカ返し→(11:05)赤石小屋 テント泊

8/12(月) 晴れ

赤石小屋(4:55)→(5:35)富士見平→砲台型休憩所→(7:50)榎島下降点→(8:15)赤石岳(8:40)→(9:15)榎島下降点→(9:50)小赤石の肩→(11:00)大聖寺平→(11:40)荒川小屋 小屋泊

8/13(火) 晴れ

荒川小屋(5:00)→(6:45)前岳→(7:05)中岳→(9:00)荒川岳/東岳(悪沢岳)→(9:40)丸山→(10:20)千枚岳→(11:10)千枚小屋 小屋泊

8/14(水) 曇り 午後から一時雨

千枚小屋(3:45)→(5:35)見晴台→(6:25)清水平→(7:10)小石下→(8:05)鉄塔下→(9:15)榎島ロッジ

[特種東海フォレスト 送迎バス]榎島ロッジ(13:00)→(1:00)→(14:10)畑薙夏季臨時駐車場

[バス:静鉄ジャストライン]畑薙臨時駐車場(14:30)→(17:50)静岡駅前 [入浴]柚木の郷

[高速バス:WILLER EXPRESS WX4053 便]東静岡駅 南口(22:50)→(6:20)大阪 8/15(木)6:20 解散

感想：

今回、赤石岳・荒川三山は、経験者のTさんのお勧めもあり、時計回りコースを選択しました。山中4泊と長い日程のわりに、毎日の行動時間が5時間30分と短く、本当にこんなに時間を贅沢にゆったりと使っているのか？と自問していましたが、南アルプスの良さをゆっくりと存分に味わえて、大正解でした。Tさんに感謝です。

宿泊は、小屋の予約が取れなかったため、前半2泊はテント泊で、後半2泊は小屋泊となりました。このため、荷物は、テント泊と小屋泊の両方の装備を持ち、重たかったですが、前半、元気なうちにテント泊で解放感を味わい、後半、疲れがたまってくるときに小屋泊でのんびりでき、両方の良さを体験できました。

8/10(土)

静岡駅から、南アルプス登山線バスで3時間半、さらに、送迎バスで1時間かけて、榎島ロッジに到着。南アルプスは登山口までのアプローチが長いです。道路は一車線で狭く、カーブも多く、落石の危険もあり、自分の車で運転してくるのはちょっと厳しいなあと思いました。榎島ロッジのテント場は、広く、芝生が敷いてあり、水は豊富で、トイレも綺麗で、快適でした。登山口まで下見に行きましたが、下山してくる登山者が口々に「しんどかった」と言われていました。

8/11(日)

登山口から「ボッカ返し」までの標高差1400mの登りは、3時間連続の登りで、樹林帯で、風が無く、暑く、景色が単調で、キツかったです。松岡は23kgの荷物を持ってきた事を後悔し、心が折れそうでした。反時計回りコースの場合は、最後に、疲れた状態で劇下りするので、ツライだろうなあと思いました。赤石小屋は、テント場は道幅ぐらいいくなく狭かったけれど、水は消毒されたものが無料でした。トイレは、綺麗で、エコのため、小便と大便の受入口が分かれており、ヘリで分別して回収するようになっていました。この日、テント場は一杯で、遅く到着した人は、別のヘリポートの所にテントを張っていました。小屋からの景色は、赤石岳や、聖岳がよく見え、夜の星空は、満天で、流れ星も見えました。

8/12(月)

出発から1時間で「富士見平」に到着。360度のパノラマで、待望の富士山が見えました。榎島下降点まで登りは、ガレ場で、予想外にキツく、バテてしまいました。後で、Mさんからコメントがあり、早朝の登山開始直後のペースがちょっと速かったのがよくなかったと反省しました。榎島下降点からは、荷物をデポして、軽装で、赤石岳に登りました。頂上は、快晴で、南アルプス全体が見えました。荒川小屋には、午前中に到着することができ、ゆっくり過ごすことができました。14時を過ぎると雷雨になり、やはり、アルプスでは、早出、早着が重要だと改めて思いました。静岡県営の南アルプスの山小屋は、清潔で、コロナ後、一人毎の仕切りがあり、快適でした。夕食はカレーで、美味しかったです。朝食は、前日に弁当を渡してくれ、無料で、食堂を解放してくれ、温かいお茶も提供してくれました。悪沢岳のTシャツが大人気でした。

8/13(火)

いよいよ今回のハイライト荒川三山。早朝、富士山の朝焼けをバックに、前日の反省から、登山開始後、稜線までの上りをゆっくり登りました。そうするとその日は比較的元気に行動できました。前岳は、荷物をデポして、登りました。中岳はすぐに到着、中岳避難小屋は稜線上にありました。東岳(悪沢岳)の上りは、見た目はガレた岩場で緊張しましたが、岩壁の直登が1箇所だけで、キツくはありませんでした。悪沢岳からは、塩見岳など南アルプスが一望できました。千枚岳までは、お花畑がたくさんありましたが、ちょっと時期を過ぎていました。雷鳥はいませんが、ホシガラス(鳥)のつがいを見れました。千枚小屋では、コロナや材料高騰で、宿泊料が高くなった見返りに、小屋のアルバイトの方が定期的に講習会(山の天気など)を開催されていました。

8/14(水)

バスの時刻に間に合うように、早朝4時前に出発。結構急な下りであり、反時計回りコースの人にとっての上りは意外にキツイのではと思いました。

参加者のMさん、ありがとうございました。

その他

・南アルプスは、キツイので、若い人しかいないと聞いてましたが、やはり、若い夫婦や若者のグループが多かったです。年輩の方は、ツアーが2組おられたぐらいでした。

・コースについて、ガイドブックには、短日程(山中2泊)の反時計回りコースが8割で、長日程(山中3泊)の時計回りコースは2割しかないとなっており、懐疑的でしたが、実際に、ほとんどの人が、反時計回りコースでした。ただ、反時計回りコースは、1日の行動時間が長く、もし、雷雨などによる停滞が発生した場合に、予定通りの小屋に到着できないリスクがあると思いました。反時計回りコースの人で、やっぱり、もう1日小屋泊をする計画にしておけばよかったという声を聞きました。

・今回、たまたま、山岳ガイドのパステルツアーのAさん(学連の理事)と一緒させて頂き、いろんな経験豊富な話が聞けて面白かったです。